

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	あせび会	
代表者名	大金 房子	
連絡先	電話: 245-2515	E-mail なし
	FAX: 245-2515	

1 助成事業報告

助成を受けた事業名	地域の幸せ向上
事業の目的	地域福祉についての学習活動、奉仕活動による実践を通じて、会員相互の親睦と地域の幸せを高める。
事業の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の単身や二世帯の高齢者を招いて開催している「談笑会(ふれ合い食事会=町内会館で会員手作り料理提供や合唱・軽い運動・脳トレなどレクリエーション)」の開催時に、自力で会場まで来られない高齢者をタクシーで送迎する。 ・町内会の75歳以上単身者全員に、それぞれの誕生日に会員2名で訪問し届ける花束をこれまでの600円から700円にする。
活動の開始から完了までの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会から世帯台帳を借り、3月の定例会で該当高齢者(65歳以上の単身者と65歳・80歳以上二世帯)をリストアップ。 ・4月の定例会で、該当高齢者全員について、住居の近い会員2名を担当とし、「談笑会」参加(タクシー利用)と花束贈呈の意向を確認(総会終了後に会員で情報共有)。 ・5月、6月とコロナ感染拡大のため「談笑会」を中止。その代替として弁当を購入し、「談笑会」参加予定者宅に届けると決定。6月定例会後、会員が担当高齢者宅に伺い弁当の希望を確認、役員が西多賀生協で弁当30個を注文、羽黒台会館への配達を依頼。6月15日、会員が会館に集合、担当高齢者の弁当を受け取り御自宅に届け、1個につき200円を集金。コロナ禍おさまらず7月、9月も中止し、同様に弁当配達。 ・毎月の定例会時に、次月の75歳以上単身者全員の誕生日を確認、担当会員に花束代を預け、担当会員が当日8:30までに花屋に受け取りに行き2名で訪問した。
活動の成果と教訓	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外出や交流機会が減っている上に「談笑会」中止で落胆していた高齢者に、ささやかでも交流・励ましと栄養補給ができた。 ・誕生日に花束を届けると、皆さん大変喜ばれる。町内会の75歳以上単身者全戸に伺うことに意義がある。近所との交流が少なく、「談笑会」にも参加しない高齢者の安否確認や状況把握ができた。いざという時の迅速・的確な対応につながる。
今後の展望など	会員自身も高齢化しており、新会員勧誘が喫緊の課題。「談笑会」と「誕生日花束」はできる限り続けたいが、活動資金調達が毎年の悩み。町内会には活動を認められて助成を受けられるようになったが、不足分は地区社会福祉協議会へ助成申請、花束代の減額、「談笑会」参加費の増額検討など工夫とやりくりを続けていく。

2 助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
福祉活動助成金	20,000	
羽黒台町内会助成金	11,678	2022年度分の4万円のうちから
その他	12,000	弁当利用者が200円/個ずつ負担
合計	43,678	

■ 支出の部

費目	内容	予算額(円)	実支出額(円)
タクシー代	1,800円×2往復×2回	8,000	0
誕生日花束代	700円×23人	18,000	16,100
弁当代に補填	6月15日(ちらし寿司とコロッケ), 9月21日(サンマとキノコご飯), それぞれ30人に計60個。	11,000	27,578
配達者への謝礼	1名の会員が自家用車で各戸へお届け	1,000	0
合計		38,000	43,678

2021年下期
あせび会の活動

